

あゝ奥飛驒に雨が降る

木村佳司

乗鞍 55 ロゲイニングチャレンジ 2009 年 5 月 31 日 岐阜県高山市

ロゲインシリーズ 2009 開幕
戦は深い深い飛驒の森で、深
い霧に包まれて始まった。

2009 年 5 月 30 日 岐阜県高山市
乗鞍 55 ロゲイニングチャレンジ

55 チャレンジ 女子無制限

1	田島 利佳	640 点(2:16:16)
2	大澤貴子	640 点(2:50:28)
3	志村直子	635 点(2:58:32)
4	田中悦子	605 点(2:49:11)
5	小林美幸	595 点(2:45:42)
6	高橋香織	590 点(2:48:05)
7	清水由布子	565 点(2:43:25)
8	高橋美和	565 点(2:43:27)
9	水野日香里	560 点(2:44:17)
10	山口真理子	560 点(2:55:35)

55 チャレンジ 男子無制限

1	柳下 大	640 点(1:30:39)
2	円井基史	640 点(1:34:05)
3	松澤俊行	640 点(1:34:30)
4	水嶋孝久	640 点(1:39:28)
5	谷川友太	640 点(1:43:22)

6	奥村 理也	640 点(1:43:51)
7	丸山茂樹	640 点(1:49:42)
8	崎田孝文	640 点(1:51:21)
9	沢厚太郎	640 点(1:55:29)
10	小林隆昭	640 点(2:01:41)

55 チャレンジ 女子 40 歳以上

1	竹腰加代子	610 点(2:29:21)
2	佐野千恵美	610 点(2:54:43)
3	西原紀恵	600 点(2:59:05)

55 チャレンジ 男子 40 歳以上

1	中野茂暢	640 点(2:03:03)
2	遠山敏幸	640 点(2:07:26)
3	福田雅秀	640 点(2:08:04)

55 チャレンジ 女子 60 歳以上

1	石田美代子	435 点(2:50:55)
2	若松リツ子	345 点(2:03:37)

55 チャレンジ 男子 60 歳以上

1	小野盛光	640 点(2:45:38)
2	小橋 至	615 点(2:34:38)
3	宮林 修	605 点(2:42:23)

55 チャレンジ 家族組

1	西崎稔/西崎薫	590 点(2:41:05)
2	上田浩嗣/皓一朗	590 点(2:58:35)
3	高野純一/航希	580 点(2:56:29)

22 ファースト 一般組

1	金子竜太/順子	230 点(0:39:40)
2	安池秀徳/渡辺朋子	230 点(1:09:08)
3	藪下/山本	210 点(1:16:04)

22 ファースト 家族組

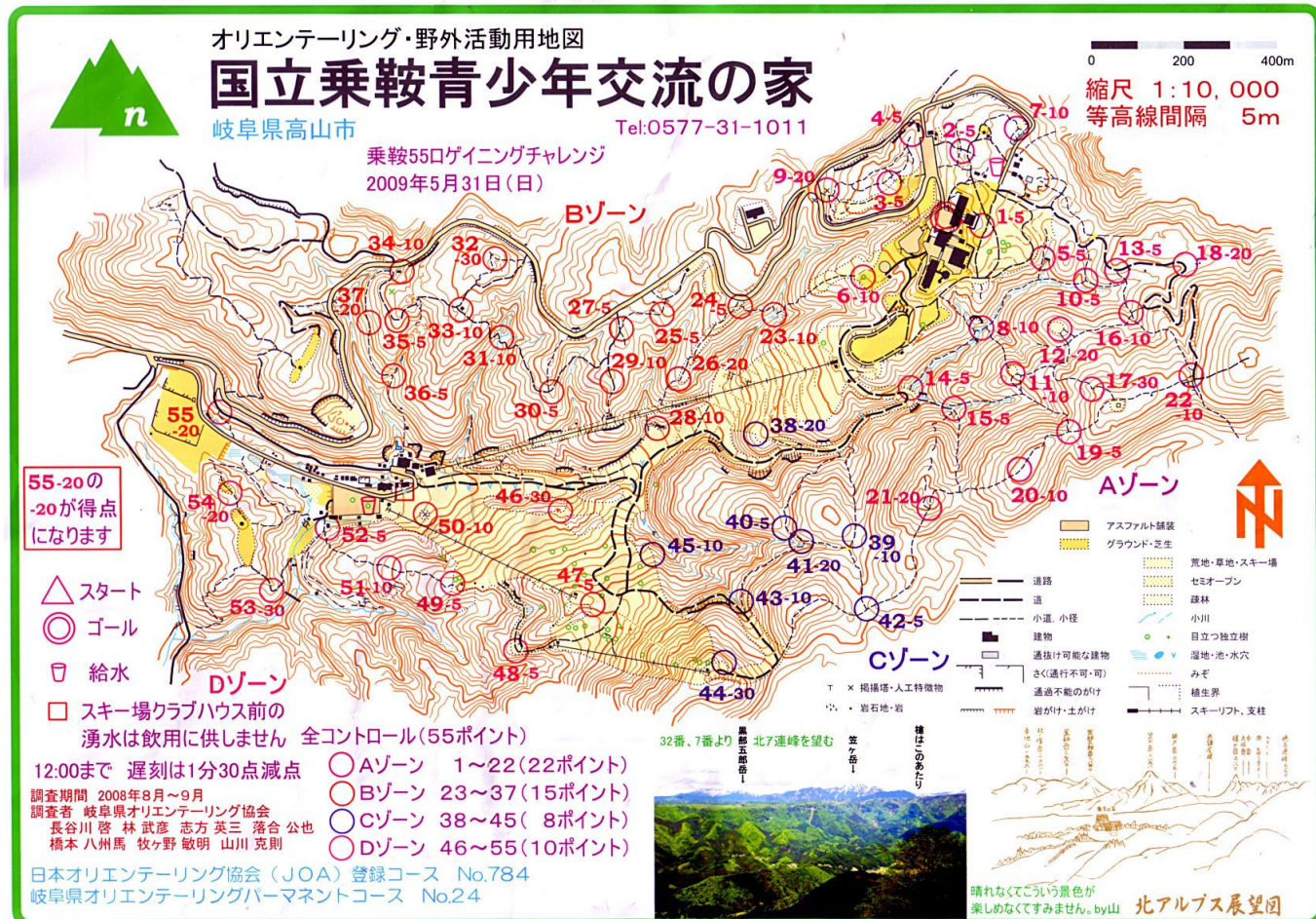
1	森瀬辰浩/竣介	230 点(1:10:10)
2	森田ファミリー	230 点(1:23:49)
3	小倉ファミリー	160 点(1:24:25)

満点勝負

ロゲインシリーズの開幕戦は2008 シーズンの覇者、Team 阿闍梨の田島と柳下が優勝を飾った。

今回のテレインはロゲイン競技には狭いなかで行われた。このため男子の多くが満点、女子も上位は満点を獲得した。こうなると所要時間で勝負が決まることになる。

また、短距離決戦のロゲイン競技のわりには総コントロール数が55個もあり、さながらコントロールピッキングの様相を見せたレースとなった。



縮尺 1:10,000 A4 サイズ 3時間ロゲインには狭い範囲に55個ものコントロールが設置された。
そこには主催者側の深い目論見があった。

このようなコースであることは事前に参加要項にうたわれて募集が行われた。



雨が降ってもへっちゃら。乗鞍の深い森をゆく楽しそうなファミリー

PC コースのオープニング

そもそもこの企画は乗鞍青少年交流の家で使用されるパーマナントコースの整備事業から始まった。55 個ものポイントを交流の家周辺に設けて、これを林間学校でやってきた生徒・児童に提供しようというもの。55 個もあるのは、林間学校側のあらゆる要求に応えるためだ。

その整備された地図とコースを多くのかたにご披露しようと企画されたのがこのイベントだ。

55 個のコントロールを回った時間はコースレコードとして乗鞍青少年交流の家に掲示される。ここにやってくる中学生・高校生がこのコースレコードを目標に 55 個のスコアパーマナントコースに挑戦してほしい。そんな主催者の願いがこめられているのだ。

ああ奥飛驒に雨が降る

会場となった乗鞍青少年交流の家は標高 1500m の高原。飛驒山脈に連なる乗鞍山の岐阜県側に位置する。周囲には民家が全くない本当に深い森の中に位置する。

演歌「奥飛驒慕情」の歌詞どおり、大会期間の土日は雨が降り続いた。さらにテレインには霧が流れ込み、参加者を翻弄した。レース終盤には雨が上がり、霧のたなびく幻想的な高原の風景の中を参加者が駆け抜けた。

普段のロゲインでは満点近くの得点を出すことはできない体力層の参加者



霧が巻く幻想的な草原を走る

にも、数多くのコントロール発見の楽しさを提供でき、雨にも関わらず夢中で 3 時間を過ごしていた。

レース後には交流の家で風呂と昼食が用意された。どろんこレースだったが気持ちよくレースを終えることができた。



乗鞍 55 ロゲインチャレンジ
整備された遊歩道を駆け下る

ロゲインシリーズ 2009 開幕戦

昨年好評だったロゲインシリーズは 2009 年からさらにパワーアップした。

今回の乗鞍大会はその初戦。夏は中部山岳地方から始まり、秋、冬と徐々に里山に降りてゆく。今年も多くのおリエンティアとアドベンチャーレーサー、トレイルランナー、ハイカーたちの歓声を聞くことができるだろう。

(木村佳司)



前日の土曜日、上高地に立ち寄った長野県協会メンバー。大正池から梓川に沿ってトレイルラン。